

2020年度 第1回日本心血管脳卒中学会 定期運営委員会 議事録

1. 日時 2020年7月6日(月) 18:00-19:00
2. 場所 国立循環器病研究センター 豊田副院長室/WEB meeting(暗号化されたZOOMにて)
3. 出席者(50音順)
運営委員: 飯原 弘二、伊莉 裕二、池田 隆徳、小笠原 邦昭、岡田 靖、國原 孝、
佐田 政隆、豊田 一則
運営委員長: 宮本 享(再掲)
監事: 森野 禎浩、木村 和美
会長・会長予定者: 平野 照之(第7回会長 杏林大学 脳卒中医学)、豊田 一則(第8回会長 再掲)
庶務会計: 坂井 信幸、豊田 一則(再掲)
事務局: 徳永 梓・井上 学
欠席: 坂井 信幸

4. 議題(敬称略)

議長(宮本 享)は、出席者を確認し、議事録署名人に 木村 和美、國原 孝の両名を指名した。

(1) 開会あいさつ(宮本 享)

宮本 享運営委員長より、第7回、第8回の準備への感謝と第8回以降の開催に関して議論を進めることが表明された。

(2) 第6回学術集会報告(木村 和美、資料1)

第6回学術集会では437名の参加者、シンポジウム21演題を含む200演題を得たこと、学会より200万円の補助金を得て運営し、収支決算につき税理士による監査を受けたことが報告された。

(3) 第7回学術集会報告(平野 照之、資料2)

第7回学術集会をWEBで開催するにあたり「脳卒中と循環器病: 克服5カ年計画から対策推進計画への道標」をテーマに掲げ、STROKE2020内でWEBによるLIVE配信で開催することが報告された。

(4) 2019年度決算について(豊田 一則/井上 学、資料3)

開催補助金をコロナ禍の影響で決算が年度内に行えず次年度に計上していることを事務局井上 学が説明し、2019年度決算(資料3)について、森野 禎浩監事、木村 和美監事の確認を得たことを報告し、運営委員会の承認を得た。

(5) 2020年度予算について(豊田 一則/井上 学、資料4)

第8回学術集会への開催補助金を計上し、2019年度決算に基づいて作成した2020年度予算案(資料4)を事務局井上 学が説明し、運営委員会の承認を得た。

(6) 定年を迎えた評議員/新規評議員推薦について(豊田 一則、資料6・資料7)

定年および自然退会した評議員8名が事務局より報告された。第4期(2019年6月から2年間)の評議員155名が運営委員会で選任された。

(7) 第8回学術集会について(豊田 一則、次期会長、資料8)

テーマを「心脳連関を究める」として、開催/配信方式に関してコロナ禍の状況を見つつ検討中であるが、現在の時点で国立循環器病研究センターのエントランス棟の講堂を第1会場、第1・2会議場を第2会場として開催予定していることを報告した。

(8) 第9回学術集会について(豊田 一則庶務会計幹事/宮本 享運営委員長)

次々期会長予定者として佐田 政隆先生(徳島大学 循環器内科)が多くの運営委員から推挙されたことが報告され、出席者全員一致で承認された。佐田 政隆次々期会長より会場を国立循環器病研究センターとして第8回を参考にコンパクトで充実した会を企画を始めることが説明された。

(9) 第10回学術集会について(豊田 一則庶務会計幹事/宮本 享運営委員長)

第10回会長予定者として國原 孝先生(東京慈恵会医科大学 心臓外科)が推挙され、出席者全員一致で承認された。

(10) 本会の運営に関する意見交換(豊田 一則庶務会計幹事/宮本 享運営委員長)

学会の開催方式の変更や会場の使用料に関して今後コンパクトな学会を目指すこととし、今後学会準備金を100万円へと減額する方向で運営して行くことが言及された。また國原委員より会員数を増加させる方策に関する検討の提案がなされた。

(11)今年度の総会、評議員会の開催について（豊田 一則/井上 学、資料 11）
事務局井上 学より、今年度の評議員会は会則第 16 条に基づき行わないことの説明があった。また総会
に関しては会則第 18 条に会期中の開催が定められているため、WEB 開催にて 8 月 25 日に行う旨の説明
があった。

以上この議事録が正確であることを証します。

2020 年 7 月 6 日

議長： 宮本 享



議事録署名人：木村 和美



國原 孝

